

記入例

療養費支給申請書 (R2年 4 月分) (はり・きゅう用)

被 保 険 者 欄	○被保険者証等の記号番号				○発症又は負傷年月日				○傷病名 (医師の同意を受けた傷病名)				
	1	9	-		1	2	3	4	R2年 4 月 1 日				腰痛症
	(フリガナ) ケンポ タロウ				続 柄				○発症又は負傷の原因及びその経過				
施 術 を 受 け た 者 の 氏 名	健保 太郎				男	1. 本人			家事をしていて痛くなった				
昭 平・令 60年 4 月 1 日生					女	2. 配偶者			○業務上・外、第三者行為の有無				
						3. 子			1. 業務上 2. 第三者行為である 3. その他				
						4. その他							

施 術 内 容 欄	初 療 年 月 日	施 術 期 間		実 日 数	請 求 区 分						
	令和 年 月 日	自・令和 年 月 日～至・令和 年 月 日		日	新 規 ・ 継 続						
	傷病名	1. 神経痛 2. リウマチ 3. 頸腕症候群 4. 五十肩 5. 腰痛症 6. 頸椎捻挫後遺症 7. その他 ()			転 帰						
	初 検 料	1 はり 2 きゅう 3 はりきゅう併用			円	摘 要 ※施術管理者以外が施術した場合に記入 施術者氏名 _____					
	施 術	はり	円 ×	回 =	円	施 術 日 . . . 日					
	施 術	きゅう	円 ×	回 =	円						
	施 術	はり・きゅう併用	円 ×	回 =	円						
	料	電療料	円 ×	回 =	円	※治療を必要とした場合に記入 往 療 日 . . . 日					
	往 療 料	1 電気針 2 電気温灸器 3 電気光線器具	円 ×	回 =	円						
	往 療 料	4 km まで	円 ×	回 =	円	往 療 を 必 要 と し た 理 由					
往 療 料	4 km 超	円 ×	回 =	円							
施 術 報 告 書 交 付 料 (前 回 支 給 : 年 月 分)	円 ×		回 =	円							
費 用 額 計	円										
施 術 日 通 院 ○ 往 療 ◎	月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31									

施術管理者が記入

施 術 証 明 欄	上記のとおり施術を行い、その費用を領収しました。	保健所登録区分	1. 施術所所在地 2. 出張専門施術者住所地	
	令和 年 月 日	所在地		
	はり師免許登録番号 _____	施術所名		
	きゅう師免許登録番号 _____	施術管理者名	電話 _____	

申 請 欄	上記の療養に要した費用に関して、療養費の支給を申請します。	〒 623-8511
	令和 2 年 5 月 1 日	被保険者 住 所 京都府綾部市青野町膳所 1 番地
支 払 機 関 欄	グンゼ健康保険組合理事長 殿	氏 名 健保 太郎
		電話 0773-42-0088

支 払 機 関 欄	支払区分	預金の種類	金融機関名
	1. 銀行振込 2. 郵便局	1. 普通 2. 当座	健保 銀行 金庫 綾部 本店
口座名義 カタカナで記入	ケンポ タロウ	口座番号	1 2 3 4 5 6
			郵便局

同 意 記 録	同意医師の氏名	住 所	同意年月日	傷 病 名	要加療期間
	同意書原本添付ありは記載不要。 ただし、前月分以前の申請書に同意書の原本を添付し、当該同意書に基づく支給可能期間内の場合、記載が必要				

<記入にあたっての注意事項>

- ・ 申請書は暦月を単位として作成してください。
- ・ 二重線内(「施術内容欄」および「施術証明欄」)は、施術管理者へ記入を依頼してください。
- ・ 「支払機関欄」は、被保険者名義の口座を記入してください。
- ・ 「同意記録」は、同意書の原本を添付する場合、記入の必要はありません。ただし、前月分以前の申請書に同意書の原本を添付し、当該同意書に基づく支給可能期間内の場合、当該同意書に係る内容を「同意記録」に記入してください。

<提出の流れ>本人 → 事業所 → 健康保険組合 (※任意継続の場合は、直接 健康保険組合へ提出してください)
※当該申請書を提出の際には、施術に要した費用の領収書(原本)を必ず添付してください。

<その他添付書類(該当する場合)>

医師の同意書(原本) 施術報告書(写し) 往療状況確認表 1年以上・月16回以上施術継続理由・状態記入書